



2018年10月26日発行
通算 第187号

会員だより

2018年
11月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
http://hanamidori.sakura.ne.jp/



正会員ミーティングより生まれた企画です！

「防災」を日ごろの暮らしに取り入れよう♪

～「防災」を特別なことでなく「日常」に～



東京臨海広域防災公園HPより

当会には現在、30名の会員が正会員として日ごろの活動への参加に加えて、会の運営にも参加しています。正会員ミーティングが年4回開催され、その中からこれまで「ポイント制検討会」「会の魅力アップ委員会」などの自主活動が生まれましたが、このたび、正会員全体で取り組む課題として、最近、頻繁に起きている災害で多くの人たちの関心がより他人ごとではなくなっている「防災」に関して、会全体として意識を高めたい、という提案がありました。

「会全体で日ごろの暮らしそのものを、災害への備えにつながるように心がけよう」という思いから、「会員の皆さんの、日ごろの暮らしの知恵や工夫で、防災に活用・応用できる情報を共有する機会を作ろう！」

という方向性に話がまとまり、正会員ミーティング特別編を開催し、第0弾から第2弾までの3つの取り組みを計画しました。是非奮ってご参加ください。

第2弾 新年会も「防災」で！

「防災に役立つ暮らしの知恵の共有会」として新年会も一工夫、を計画中です。お楽しみに！

1月28日(月) 12:00～
平和の森公園「みどりの縁側」
※詳細は、会員だより1月号にて

第0弾(予習会) 本所防災館見学会

第1弾の「そなエリア見学」に向けての予習会、として提案され、イベントとしての開催ではなく、正会員メンバー有志の自主活動として行いますが、どなたでもご参加いただけます。普段から興味はあっても、一人ではなかなか行かれない場所でもありますので、ご興味のある方はこの機にぜひ、ご一緒しましょう！

11月22日(木) 13:00

都営浅草線「押上」駅改札口集合

※都営浅草線ホーム中央にある階段を下りた所にある改札口で待ち合わせます。
※参加希望の方は、活動アンケートにてお知らせください。また、現地に直接おいでになる場合は、その旨、書き添えてください。

第1弾

防災体験学習(そなエリア東京) 見学

有明の「東京臨海広域防災公園」の中にあります防災体験学習館のツアーに参加します。

12月16日(日) 12:30

JR大井町駅 中央改札口集合

※大井町駅でりんかい線に乗り換えます
※見学が予約制のため、人数把握が必要となります。参加希望の方は必ず、活動アンケートにてお知らせください。
※現地に直接おいでになる場合は、活動アンケートにその旨、書き添えてください。



18色の緑づくり応援イベント

「きてみて！花とみどりのある暮らし」：9/22(土)大田区民ホールアブリコ

小ホールでの近藤かおり氏(公園管理運営士、株式会社フィーカ代表取締役)による講演会、展示室でのワークショップの様子を写真でご紹介します。今年度もたくさんの方が来場され、講演会・ワークショップを楽しまれました。



講演会「タネからの花育てが、まちを育てる」



ハーブ石けんづくり



こけ玉づくり



たねまき入門



ラベンダーサシェ(香り袋)づくり



花とみどりの自由研究



園芸相談コーナー



会場の様子

第46回大田区生活展 9/29(土)、9/30(日) 消費者生活センター

大型台風24号が関東にも近づいており心配していましたが、2日間無事終えることができました。私は土曜日のみ会員の皆さんと一緒にお客様に花の育て方や、プランターに植え替える時期など説明しました。中には1ケースごと購入する方があり、また「毎年この生活展で買うのを楽しみにしているんですよ」と言って買ってくださる方もありました。

このようなイベントに参加することで、会員同士の交流もでき、会のPRにもなり貴重な体験ができましたこと感謝いたします。(北岡三子)



大田区職員研修

「採用2年目研修」協働現場体験受け入れ 10/3(水)

今年も大田区職員3名の「NPO活動現場体験」を受け入れ、区内の活動現場をまわりました。大森南圃場でのポット上げや、洗足池児童館での巣箱取り外し等々を体験していただきました。感想を伺ったところ「役所にできないことを、こうして埋めてくれているということを知りました」「自分の知らないことの多さを知りました」と答えてくださいました。



第8回おおたオープンファクトリー 10/6(土)テクノFRONT森ヶ崎

昨年(2階の通路)と違い、今年は玄関入口の特等席のブースに陣取りました。その効果はバツゲン！特に多肉植物が人気でした。花苗はまだ咲いていなくて、ちょっと残念…でも参加スタッフ6名、張り切って頑張りました。工場内も当日はオープン。珍しいものも見学することができ、大田区職人の腕の良さが確認できました。野菜の工場もあり、レタスをもらいました。

今年は我々の紹介に力を入れてくれて、チラシや案内板等に当会の名前を見ることができました。来年も参加したいと思います。(堀崎英孝)



第11回「田園調布グリーンフェスタ」より

第175回園芸セミナー「田園調布が育ってきた時代の側面」～田園調布の開発と温室村～

講師:三橋昭氏 10/14(日) 田園調布せせらぎ公園

セミナーには約30名が受講。田園調布は大正7年に郊外型住宅として開発がはじまり、六郷用水と多摩川堤防に挟まれる細長い一帯は「玉川温室村」として都市型園芸、花卉栽培で繁栄したそうです。堤防が作られたため水害の恐れがなく、肥沃な土壌、北側は崖線で北風を防ぎ、南側は陽光降り注ぐ地理的条件が温室経営の適地でした。

温室村の経営者は、農家の方でなくアメリカなどに視察に行った華族など。温室の生産ピークは昭和10年頃で、経営者数30、15000坪。カーネーションやバラ、スイートピーなど生産し、年間売り上げは同面積の自営米作農家の約11倍の売り上げにもなったとのこと。またクリスマスリースやコサージュ、母の日のカーネーション、ブーケなど切り花の需要拡大に努力したそうです。

しかし戦時色が濃くなるにつれて、ガラスは光るので攻撃的、鉄材は戦争利用で温室は解体されてしまいました。

終戦後は宅地化が進み、現在は貸し植木屋さん二軒が残っているだけです。今も多摩堤通りを通るバス停留所に「田園調布温室村」の名称が使われています。その歴史の流れのお話に皆様大変熱心に聴き入っておられました。バス停、探しに行ってみたいですね。よい勉強になりました。(荻野博子)



(上)講師の三橋昭氏
(左上)セミナーの様子
(左下)花苗販売の様子

花とみどりのお気に入り♪

Vol.3

いきなり農業経営の本をご紹介してすみません。この本には当会の活動に役立つアイデアも含まれており、読み物としても面白いのでご紹介させていただきます。

著者の西田栄喜さんは、バーテンダーやビジネスホテルの雇われ支配人などを勤めたあとに農業を始めたというズブの素人。その彼が今や売れっ子？の農業経営者となり、取材記事も多いので、ご存知の方もいるかもしれません。

国内の農業はTPPなど国際競争にさらされ、大規模営農や高付加価値による輸出が推奨されています。しかし西田さんは全く逆の、たった30アールの土地で多品種少量生産という真逆の方法で、自立経営を達成して話題となりました。消費者の側に立った作物選定や、野菜の楽しい解説を箱に詰めたネット直売、農業体験に誘ってファンになってもらう仕組みなど、いわゆる「第6次産業」化を徹底しています。収穫物の廃棄をなくすために漬物などの加工品にも力を入れるだけでなく、ひと畝に何種類もの作物を入れる多品種少量生産で、結果的に単一栽培に比べて病害虫の発生を

「小さい農業で稼ぐコツ 加工・直売・幸せ家族農業で30a 1200万円」西田栄喜著(農文協)税込1,836円

抑えることで、安全な野菜として消費者に喜ばれています。面白いのは、通常は一度収穫したら終わりのキャベツや白菜で、収穫後にできる脇芽まで商品にしてしまうという徹底ぶり。脇芽は柔らかく美味しいので、楽しいイラスト説明とともに箱に詰めると都会の消費者には喜ばれるそうです。

普段はゴミとして廃棄されるものも、説明すれば喜ばれ、知識や好奇心、楽しさも一緒に箱に詰められます。良い野菜を作るだけでなく、興味を持ってもらう工夫、農業体験や漬物教室に誘うことでさらにファンが増えています。余談ですが、西田さん一家は、一年の売上が1200万を大きく超えると、「働きすぎだ、来年は余裕を持って働こう」と家族で反省するそうです。(笑)



◆ネイチャーウォーク

～木の実を探そう～ 10/6(土)



①イヌマキの実



②コブシの花



③コブシの花と実

②コブシの花

夏の暑さでコブシの葉が落ちて、秋なのにコブシの花が咲きました。

③コブシの花と実

今年の秋は、コブシの花と実の両方が見られました。
(上田志朗)

◆背骨コンディショニング(セルフ体操)で健康に 10/8(月祝)

講師:高橋晃史氏(背骨コンディショニング協会認定パーソナルトレーナー)

事前申し込みした20名で会場は一杯に。二人一組で自己紹介して和やかな雰囲気から始まりです。

背骨とは下から尾骨、2つの骨盤の間にある仙骨・腰椎・胸椎・頸椎。仙骨が歪むとその上に乗ってる背骨が連鎖的に歪んでしまい、歪むことで神経が引っ張られ痛みやこり、張り、しびれ、内臓の不調等々が起きるそうです。床に寝て足の長さや股関節の開きなどのチェック。左右の差や硬さ、痛み。不調の原因を探ります。歪んだ背骨は「緩める」「矯正」「筋トレ」で整えられます。

早速セルフ体操の始まりです。仙骨から頸椎まで歪みを直し、硬くなった筋肉を丁寧に緩めていきます。痛みのない範囲でゆっくり。1日何回やってもいいそうです。筋トレは週に2回。やっている最中に「硬い～」「気持ちいい」「楽になってきた」等々。あっという間の2時間でした。

皆さんのさわやかな笑顔に、見ていだけで体操ができなかった腰痛持ちの私、パーソナルレッスンを是非受けに行きたいと思いました。(荻野博子)



＜大田区本庁舎前花壇 オープンデー開催のお知らせ＞



大田区本庁舎前花壇のプランターの植替えを、庁舎前を通りかかった方たちをお誘いして、楽しく一緒に取り組んでみよう、という試みです。会員の皆さまには、指導スタッフとしてお手伝いいたします♪

★日時: 11月24日(土) 10時～11時(雨天中止) 指導スタッフは9時本庁舎前花壇集合

＜今月の会員だよりの同封物＞

- ◆活動カレンダー
- ◆「みどりの縁側」だより11月号
- ◆「せせらぎ園芸セミナー」チラシ
- ◆農園利用者選定事務スタッフ募集(会員のみ)
- ◆活動アンケート(会員のみ)
- ◆「みどりの縁側」11月スタッフシフト表
(会員のみ)
- ◆大森南圃場日直・当番表
(大森南圃場活動登録者)

※有償活動に参加された方には、**ポイント内訳票**を同封しています。

会員の皆さまへ

今年もあと2ヶ月。12月には毎年恒例の「事業報告会」が予定されています。今年度の事業計画及び予算案をもとに、計画通りに遂行されていたかどうか、目的を達成できたかどうかといった点について「事業報告会」に向けて、活動場所ごとのミーティングで十分な話し合いを行いましょ！

「農園利用者選定事務」

スタッフを募集します！

詳細は同封の別紙をご参照ください。

